

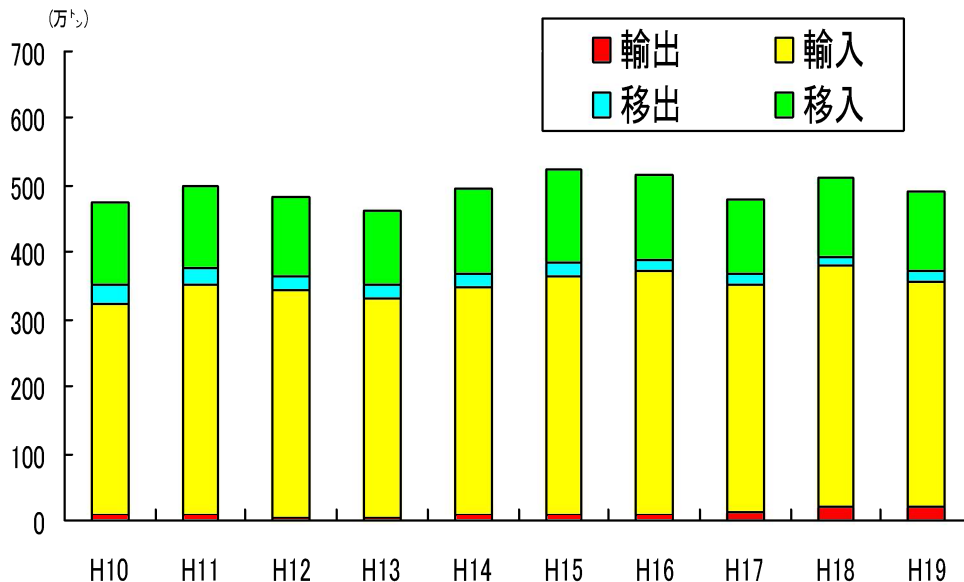
石巻港 港灣計画（一部変更（案））概要版



石巻港の概要 (平成17年3月改訂：目標年次平成20年代後半)

- 石巻港は、仙台湾の北部に位置し、紙・パルプ関連、飼肥料関連、木材・合板関連を中心とする産業の輸入基地、生産基地として産業活動を支える典型的な工業港である。
- 取扱貨物の上位5品目は木材チップ・原木・とうもろこし・石炭・動植物性製造飼肥料であり、4割が木材チップと原木で占められている。
- 既定計画において、木材チップの雲雀野地区へのシフトを位置付けているが、雲雀野地区岸壁の静穏度が十分に確保されていないとして引き続き釜地区-10m岸壁を利用しているため、取扱が集中し、沖待ちが発生するなど非効率な貨物輸送を強いられている。
- 雲雀野地区岸壁の長周期波に対する静穏度の確保が求められており、南防波堤の北上川側の整備進捗が必要である。
- 離島航路の発着基地となっている内港地区は、H18年の統廃合により、唯一の離島航路(石巻～田代島～網地島)が就航している。しかし、荒天時の安全な乗客の乗り降りや荷役作業が確保されていないため、荒天時における代替発着場所の確保が要望されている。

石巻港取扱貨物量の推移



石巻港港湾計画概要 (平成17年改訂)

■ 施設計画

区分		計画事業量
航路		-14m
防波堤		3,330m
埠頭	公共	-14m 1バース
		-13m 2バース(供用済)
		-12m 2バース
		-10m 1バース(供用済)
	専用	—
土地		564ha
利用計画 (うち緑地30ha)		

今回の計画変更内容

石巻港港湾計画図（案）

【日和ふ頭】

○荒天時における離島航路（石巻～田代島～網地島）の欠航対策のため、既存施設を有効活用し、離島航路の代替係留岸壁として位置づける。

○作業船等の待機、物資補給等に対応するため、同岸壁を作業船等の係留施設として位置づける。

釜地区

内港地区

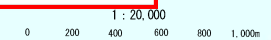
大田地区

雲雀野地区

凡例	
	航路・泊地 (既定計画)
	航路・泊地 (既設)
	防波堤・波除堤 (今回計画)
	防波堤・波除堤 (既定計画)
	公共岸壁 (既定計画)
	公共岸壁 (既設)
	物資補給岸壁 (今回計画)
	物資補給岸壁 (既設)
	公共耐震強化岸壁 (既定計画)
	公共耐震強化岸壁 (既設)
	公共物揚場 (既定計画)
	公共物揚場 (既設)
	公共船揚場 (既定計画)
	公共船揚場 (既設)
	専用岸壁 (既定計画)
	専用岸壁 (既設)
	ドルフィン (既定計画)
	ドルフィン (既設)
	小型栈橋 (既定計画)
	小型栈橋 (既設)
	埠頭用地 (既定計画)
	埠頭用地 (既設)
	緑地 (既定計画)
	緑地 (既設)
	交通機能用地 (既定計画)
	交通機能用地 (臨港道路) (既定計画)
	交通機能用地 (臨港道路) (既設)
	その他道路 (既定計画)
	その他道路 (既設)
	その他の用地 (既定計画)
	その他の用地 (既設)
	施設撤去 (計画)

【南防波堤】

○長周期波に対して港内の静穏を適切に確保するため、外郭施設計画を変更する。



計画変更の概要（雲雀野地区）

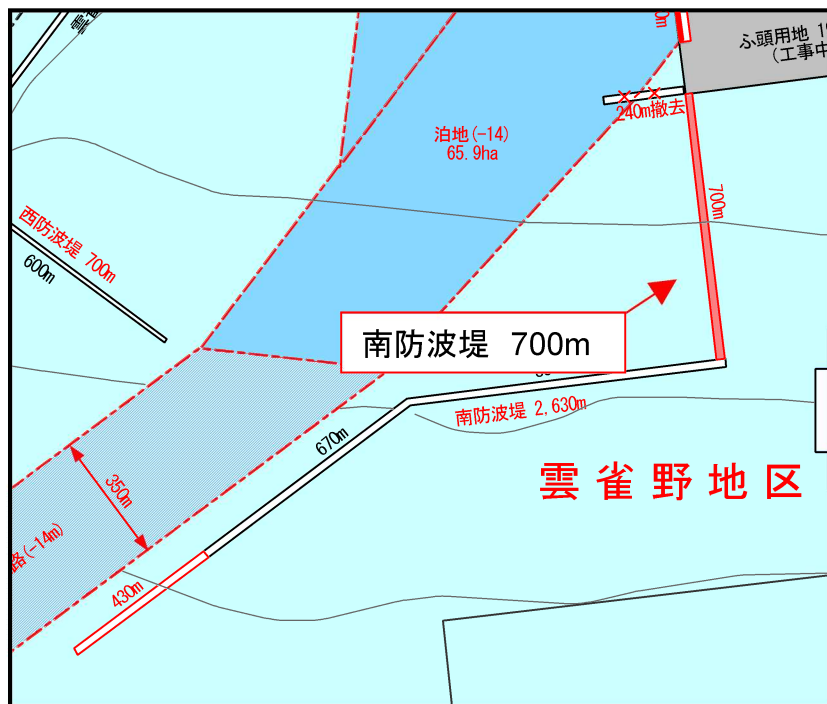
◆背景・課題

○長周期波に対して港内の静穏を適切に確保することが求められている。

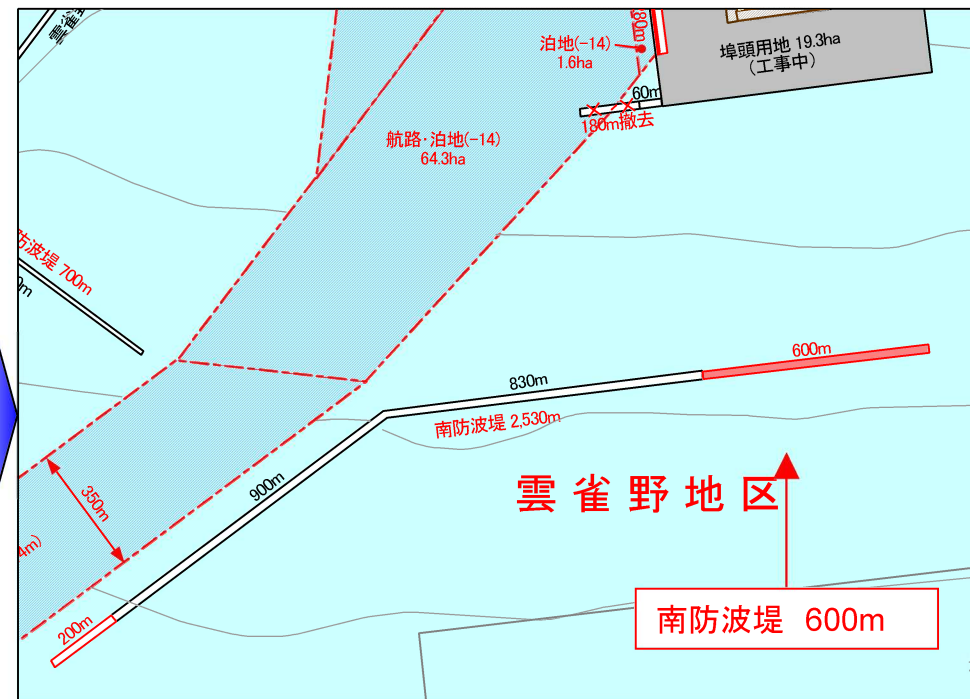
◆変更内容

○南防波堤未整備区間の防波堤計画を変更する。

【既定計画】



【今回計画】



※本計画による潮流の変化は僅かであり、水質・底質への影響は軽微であると考えられる。

計画変更の概要（釜地区）

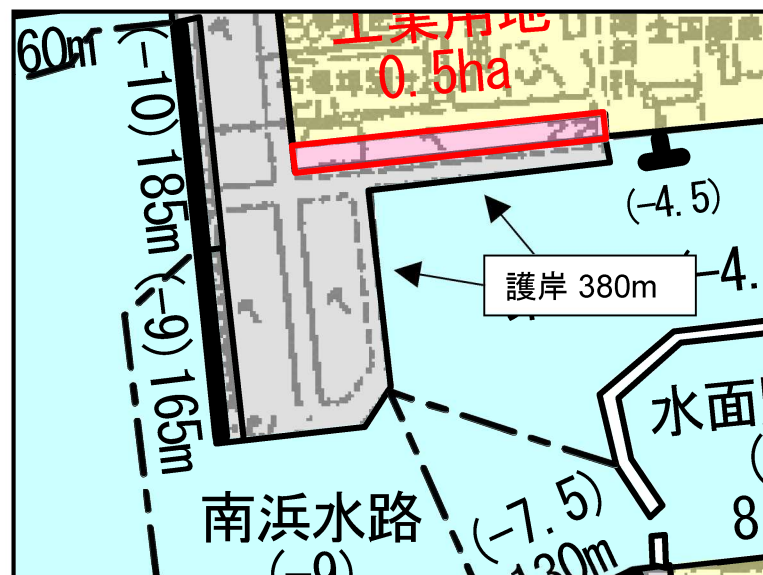
◆背景・課題

- 離島航路の機能を強化するため、荒天時における離島航路の代替係留施設の確保が求められている。
- 石巻港に在港する作業船等の待機、物資補給等のための岸壁が不足している。

●変更内容

- 日和ふ頭に既存施設を有効活用した係留施設を位置付ける。

【既定計画】



【今回計画】

